

形成外科の診療を6月から始めます



担当：北尾善孝医師

京都府立医科大学卒 医学博士

日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本医師会認定産業医

日本医師会認定健康スポーツ医 日本形成外科学会 日本美容外科学会 日本臨床抗老化医学会

永年にわたり、一般外科、消化器外科の臨床・研究に携わり、現在は形成外科の修練を積まれている北尾医師から、患者様へのご案内を掲載いたします。

はじめまして、京都府立医科大学形成外科の北尾善孝と申します。形成外科という科になじみのない方が多いと思いますので今日はご説明いたしたいと存じます。

形成外科は外科系の中でも歴史が新しい専門分野です。外科系は、(1)生命を救うこと、(2)痛みを除去すること、(3)機能を回復すること、(4)社会生活の質を向上させることを目的として手術を行います。形成外科は主として(3)と(4)を担当します。以前は、疾患は治ればよいと思われていましたが、世の中が高度になるにしたがい、疾患が治った後も快適に生活ができるように、と考えられて生まれた科と言えます。

形成外科には二つの分野があります。一つは、生まれつきまたはけがや癌などで変形したり失われた体の機能と形を正常に近い状態にして社会生活を向上させる「再建外科」、もう一つは、ご自身が気にしている微妙な形状を治療する「美容外科」です。私が得意とする「美容外科」は、正常である状態をより美しく、より若く、バランスの良い容姿を作ることを目標とし、より質の高い生活を送る助けとなることを目的とする科です。

形成外科で治療を受けられた方々が、笑顔で社会生活に復帰していられる姿を見ることが、形成外科を専門とする私の最高の喜びです。

形成外科で扱う疾患

健康保険が使える疾患

1. やけど
2. 顔の外傷
3. 顔や首の先天異常(唇裂、副耳、正中頸嚢胞など)
4. 手足の先天異常や外傷(合指症など)
5. 胸腹の先天異常(副乳、陥没乳頭、臍ヘルニアなど)
6. 母斑、血管腫、良性腫瘍(脂肪腫、粉瘤、耳下腺腫瘍など)
7. 悪性腫瘍手術後の再建(乳房再建など)
8. 瘢痕、ケロイド
9. 褥瘡、難治性潰瘍
10. その他(顔面神経麻痺、眼瞼下垂、毛巣洞、陥入爪、腹壁瘢痕ヘルニア、ワキガなど)

健康保険が使えません

11. 美容外科

通常の投薬・手術以外に、レーザー、電気分解、ピーリング、再生医療、ボトックスやヒアルロン酸注入、メソセラピー、脂肪吸引術、プラセンタやにんにく注射などにより以下のご希望にお応えします。

二重にしたい、目・鼻・耳・口など顔の形を整えたい、顔や体のしわやしみを取りたい、ほくろやニキビ痕を治したい、乳房や外性器の形を整えたい、やせたい、毛を増やしたいなど

診療体制変更のお知らせ

4月23日より、整形外科の診療体制が変更しております。また、毎週 月曜日・水曜日の夜診にて、処置外来がはじまりました。担当は、南医師、田村医師です。

5月より 毎週水曜日 外科 朝診/夜診は宇多医師が担当いたします。

詳しくは裏面の一覧表でご確認下さい。

新河端病院 理念

信頼と安心の医療

1. 患者様に感動をしていただける医療を実践します。
1. 患者様に選んでいただける病院づくりを実践します。

「患者さまの権利」

患者さまには次のような権利があります。私たちはその権利を尊重するような医療を行います。

- ・ 医療を受ける権利
- ・ 知る権利
- ・ 自分で決定する権利
- ・ プライバシーを守られる権利



医療法人 医修会 新河端病院